



妙教寺だより

第 33 号

平成 24 年 8 月

盛夏

長流水壬辰歳

平成二十四年



立正
安国

宗祖御降誕八百年

慶讃記念事業始まる

妙教寺第七世
元寇園教会第五世 順信院日薫

荒木英知

暑中御見舞申し上げます。

妙教寺の八百年慶讃運動

此の度、妙教寺では、日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃記念事業委員会が、四ヶ年間に及ぶ、事業委員会の会議を重ね、今度、檀信徒の皆様への事業内容のご報告と、予算に対してのご浄財ご志納金の勧募をお願いさせて頂くことになりました。

今般、日蓮大聖人御降誕八百年慶讃記念事業の「趣

意書」(お願い書)を五月に配布申上げております通り、来る、平成三十三年(九年后)に「宗祖御降誕八〇〇年」や明治十二年開闢以来、平成三十六年に妙教寺の開創百五十年の慶節のご祥当を目指し、日蓮大聖人様への祖恩報謝の一端に擬せんと欲して、當山の「平成の大事業」として「慶讃記念事業並びに大法要奉行」などを発願し、檀信徒皆様の御先祖様をお預かりするに相応(ふさわしい)しい道場として、又、高齢化が進むなか、皆様が気軽に参り出来る様な境内諸堂の整備や充実を図り、次世代へ伝

えるため、第一歩の年と受止め、まことに時宜^{じぎ}を得た思いであります。

これからは、宗祖御降誕八〇〇年慶讃事業の推進に止まらず、當山の第五世日貫上人、第六世日賢上人、日英法尼覚位へのご報恩行と受止め、「自分達の寺を護つて行く、菩提寺を護つて行く」を合言葉に、忍難慈勝の大神に報い邁進し、妙教寺慶讃事業の円成を願い、日蓮宗宗門と連携して檀信徒の皆様と共に、宗門や妙教寺の発展に寄与したいと、護持会役員並びに慶讃事業役員会一同決しておりますので、皆様のご賛同御協力を賜り、同心の御懇志によりまして、達成できたらと願っておりますので宜しくお願いします。

南無妙法蓮華經

慶讃事業趣意書

妙教寺檀信徒の皆様へ

宗祖日蓮大聖人

御降誕八〇〇年慶讃

記念事業協力をお願い

合掌 日蓮大聖人は、今から約七百年前の貞応元年（一二二二年）二月十六日、本州の東の端、安房の国小湊（今の千葉県）で誕生されました。以来、お釈迦様の説かれた「法華経」の真理を身をもつて証明され、生涯、お題目広宣流布に心血をそそがれました。

来る平成三十三年（本年より九年後）に私達日蓮宗信徒は御降誕八〇〇年の聖日をお迎えする事になります。日蓮宗宗門においても宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年を目指し「立正

安国・お題目結縁運動」が提起され当山においても、去る平成二十年の檀信徒総会において、八〇〇年記念事業推進を決議し、ご承認を頂きました。よって「宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃記念事業委員会」を立ち上げ、その後度重なる事業委員会会議を催し、この度檀信徒の皆様への事業内容のご報告と、予算に対しての浄財志納金をお願いをさせて頂くに至りました。

全国寺院又、県内各寺院においても、日蓮大聖人御降誕八〇〇年事業として、本堂や庫裡又諸堂の建築が計画されております。

妙教寺に於いては、昭和四十六年に宗祖御降誕第七五〇年、昭和五十六年に宗祖御入滅第七〇〇年遠忌、平成元年に立教開宗第七五〇年（祥当年平成十四

年）の各慶讃記念事業等により檀信徒皆様の御協力で総てが立派に完成し今日に至っております。然しながら、本堂・庫裡などの内装外装の維持管理をするには十数年周期での修復が必要であり、又、平成十七年三月に起きました福岡西方沖地震の被害による本堂・庫裡の補修等、その他の記念事業を含めた資金総額が六千萬元程必要となりました。

檀信徒の皆様におかれましても大変な情勢の中で誠に恐縮に存じますが御降誕八〇〇年慶讃事業の趣旨に御理解いただきあくまでも強制ではありませんが、基本的に各家二十萬元を目安にご寄進を、お願い致します。檀信徒の皆様方のご懇志により達成したいと願っております。何卒事情ご推察の上ご理解とご協力を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

す。尚、事情等のあらわれる方はご意志応分のご喜捨をお願い申し上げます。

※寄附金は、一括志納、又は、一カ年～五カ年分割納入方法を別紙の通り参照され各家で無理のない形でご協力をお願い申し上げます。ご不明の点は、御降誕八〇〇年事業委員会またはお寺までおたずね下さい。尚、寄附金を賜りました方々の御芳名御金額は、御降誕八〇〇年事業志納金として銅板に記入本堂へ掲額させて頂きます。

※平成二十二年八月に行いました、お清正公ご入滅第四〇〇年御遠忌法要に対し御支援寄附金を賜りました方々の志納金額は今回の八〇〇年慶讃事業の志納金額に加えます。

修復等予定箇所

平成17年福岡西方沖地震により、ひび割れが拡大した壁



御宝前彩色に結露によるシミが幅広く発生



老朽化に伴い剥がれかけた天上クロス



平成17年福岡西方沖地震により塔身よりずれた相輪

慶讃事業趣意書について

御降誕八〇〇年慶讃事業の趣意書については、既に拝送申し上げましたが、願うはくば、「趣意書」を今一度、熟読いただき、事業御志納金は、格別の御配慮を賜

り、早目に御志納頂くようお願い申し上げます。
尚、御同意を賜り、現在続々として、記念事業負担金を御志納頂いております。

「宗祖日蓮大聖人御降誕

八〇〇年慶讃記念事業委員会」

日英法尼本葬儀奉行に感謝

一間浮提第一の御本尊を

信じさせ給へあひかまへ、あひ

かまへ、信心つよく候て三仏の

守護をかうむらせ給へし。

行学の二道をはげみ候べし。

行学たなば仏法はあるべから

ず。我もいたし人をも教化候へ

行学は信心よりをこるべく候。

力あらば一文一句なりともか

たらせ給へし。

「諸法実相抄」

皆様には益々御健勝の御事とお慶び申し上げます。

かねがね檀信徒の皆様より、當山の護持興隆の為や宗祖御降誕八百年慶讃事業などのご浄財喜捨を賜り、又、諸行事のご奉仕など、

種々の高配に対し心から御礼申し上げます。

さて、妙教寺第五世 元寇園教会第四世 順忠院日貫上人の内室「順教院日英法尼 花田英」坊守は、去る六月十七日、法寿九十二歳をもつて遷化され、十八日通夜の儀を當山副干与人の徳栄寺住職永江尚幸僧正に御導師を願ひ、また、十九日に密葬儀を當山正干与人の妙正寺住職田中潮佑僧正に御導師を賜り、寺族や日頃親しくご厚情を頂いています皆様のご列席により相営まれました。

また、本葬儀を、日賢（英喜）上人が身延山高校、立正大学より信行道場や日蓮宗荒行堂入行の同期で、

五十二年来のご厚誼を頂き
その間、日頃、母とは、親
子の如く親しくご厚誼をい
ただいております。

豊橋市大法寺ご住職石
橋卓定僧正に御導師を頂き、
県内外のご寺院各聖、順門
会法縁並びに當山檀信徒の
皆様や法縁寺院の筑後市福
王寺様、朝倉市大安寺様、
山鹿市圓頓寺様のお檀家の
皆様の多数のご列席を賜り、
六月二十七日に厳修するこ
とが出来ましたことは、皆
様方のご厚情の賜物と心よ
り御礼申し上げます。

このたび、お導師を勤めて
いただきました、石橋卓定
僧正さまのご挨拶や、當山
の檀信徒を代表して護持会
会長植村俊親様、婦人会会
長古賀静枝様方のありがた
いご弔辞を賜り、衷心より
厚くお礼申し上げます。



亡き日英法尼を偲び沢山の檀信徒の皆様
をはじめご縁の方にご参列頂きました

日英法尼を想う

師母坊守は、ここ五ヶ年
来、病魔のおかすところな
り、医薬看護、その精をつく
すと雖も、去る、六月十七
日、天寿九十二歳にして、
油つきて 火の消るがごとく
泊然として逝去し致しまし
た。

母は、大正十年一月三十
日 島根県浜田市 坂本家

父亀太郎 母セキの三男四
女の長女に生を受け、縁あ
りて、昭和十六年五月、英
忠上人と結婚し、三男二女
をもうく、師父上人 仏縁
熟し 昭和二十七年四月、
三十七歳にして東公園日蓮
聖人銅像護持教会主管 藤
山英燐上人について得度さ
れ、四ヶ年師範上人にご給
仕に精励される間、家庭運
営は、母の双肩にかかり、
艱難^{かんなん}辛苦^{しんく}の幾多の悲悩あれ
ど、菩提心を発し夙^{つと}に三寶
を尊信し、お題目信仰の実
践者としてその温容助力は
まことに他に殊なる方でし
た。

皆様はご承知の通り、師父
上人が、昭和三十一年に、
妙教寺住職法灯を継承す
ることとなられ、時恰も激
動混乱の極に達し、世相の
荒廃^{たいはい}に臨み、頽廢^{たいはい}の寺門を

2021 年(平成 33 年)

宗祖日蓮大聖人御生誕 800 年

2028 年(平成 40 年)

妙教寺開基開創 150 周年

運営するには困窮^{こんきやう}の極に達す、しかれども、山門荒廢に臨み、意を専ら檀信徒の教化育成に注がれ、住職日貫上人を扶け、一心同歸の如く、まことの道を求めて精進され、宗祖の「法に依る人に依らざれ」の遺訓を色読された寺庭婦人として寺門興隆に尽力されました。



寒修行で団扇太鼓を叩いて
唱題修行する日英法尼

爾来、今日まで、寺門丹精に於いても お題目の拠点拡大をはかり教宣拡張と檀信徒の教化育成に力を注

がれる一生であつたと存じます。

その間、日英法尼は、妙一尼御前御返事に「夫信心と申すは別にはこれなく候。妻の夫をおしむが如く、夫の妻に命をすつるが如く、親の子をすてざるが如く、子の母にはなれざるが如くに、法華經 歎迦・多宝・十方の諸仏菩薩 諸天善神等に信を入れ奉りて、南無妙法蓮華經と唱えたてまつるを信心とは申し候なり。」と宗祖の仰せの如く、仏祖三寶諸天善神さまに信魂を捧げられ、資性^{しせい}温順にして菩提を求めては、師嚴道尊の信心の道を示し、道念極めて堅く、弟子をして敬いの心を起こさしめる寺庭婦人でありました。

信心に励み精進せよ

日英法尼は、特に、行学二道においては厳しく、「日蓮大聖人が身命をとじて命がけで弘通なされた、全人類が等しく救われ、仏になれる道・法華經を信じなさい。しっかりと心構えで、信心を強くして、お題目を受持すること。お施餓鬼供養の功德を積み、諸天や因縁さまの加護を受けなさい。法華經の行いと習学との二つの道を励みなさい。自身も二道に励み、他人に対して教化なさい。自分の信心の器量のおよぶところ、お題目の有難さを、一句であつても語りなさい。」等と教導をいただき、また、外にあつては、檀信徒の病悩を救い、衆苦を癒し、その信望を集め、常に寛喜の心を起こさしむるの人で、檀信徒育成衆庶^{しゅうじよ}善導の実を挙げ実践



立正安国・お題目結縁運動

いのちに合掌



躬行^{きやうこう}の坊守としての人格は、日貫上人の薫陶によるものと存じます。



特派布教講習会に檀信徒有志の皆様と参加する日英法尼

平成十二年八月十二日當山法嗣日賢上人が五十七歳の突然の遷化に遭い、また、平成十五年十一月十八日、日貫上人との別れ、九十を迎えし、母としての寂寥^{りよう}、察するに胸迫るものあり、痛惜^{つうせき}の極み、哀別の悲しみに満ち、ただ感慨の情、うたた禁ぜざるを得、朝靄^{ちやうあい}暮雲^{うん}を臨み、自受法樂の境に

入らんと欲して、日々を重ね、坊守の職務を果すこと、五十有六年にわたり大いなる足跡を残され、寺庭婦人としての法勲は、妙教寺の歴史に銘記されるものと思います。

知恩報恩の道

宗祖の開目抄お言葉に「何に況んや仏法を学せん人、知恩報恩なかるべしや。仏弟子は必ず四恩をしりて知恩報恩をほうずべし。」とあるように、今後は、小納や遺弟遺族は、これまで受けた薫陶や、法尼のお教えを守り、本日、ご参列の各ご寺院各聖と檀信徒の皆様のご支援とご協力を賜り、心一にして、妙教寺・元寇園教会を興隆していくことが、報恩の道として、これからも精進し

ていく覚悟であります。

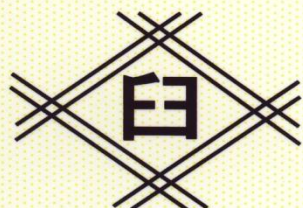
また、日英法尼が生前皆様より頂きました、ご厚情に対し 御礼申上げるとともに、先般の通夜、密葬儀や本葬儀奉行にあたり、ご回向、ご焼香、並びに、ご香志や生花等のお供えをたまり、心より御礼申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

南無妙法蓮華經

順信院日薫



日英法尼本葬儀で焼香される檀信徒の方々



建設業

早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有) 臼井組

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9

TEL 092-932-7397

弔辞（日英法尼追悼の言葉）

筆頭総代

植村 俊親

この度、名誉ある復^{また}、責任重大な筆頭総代という役職に就くことになりました。引き受けたからには、一生懸命役職を全うしていきます、皆様のご協力をお願い申し上げます。第一番目にやってきたのがこの度の坊守様の御遷化でした。悲しみを乗り越えて此処にお別れの言葉を述べさせていただきますました。

本日、ここに坊守様のお別れのご挨拶を申し上げることは大変残念でなりません。

夫婦で朝参りをして御宝

前でよく喧嘩もしました、そんな中で坊守様より、自分達の先祖、大先祖の罪の深さを教えていただきました。



日英法尼本葬儀で弔辞を述べる植村筆頭総代

この因縁様へのお詫びは、施餓鬼供養しかないとの事をお願いをして、お経を上げていると、腹のそこから大きな声で上げなさい、自分の中の汚れたものをだすため

に一語一句しつかり上げなさいとよく注意を受けました。

何回か続く施餓鬼の供養の途中では「お神がちゃんと見ておられるから一緒に頑張つて行こう」と温かい言葉を頂きながらの日々でした。

お神に受けて頂くには、お経、供養、功德の三つが常に揃はないといけないこと。等等、思い出があまりにも、多すぎて今は言いつくせません。

色々ご指導頂き本当に有難うございました。これからは、英知上人を中心に御題目の輪が弘がり、益々妙教寺が発展することを天よりご指導を頂きますようお願い申し上げます。

有難うございました。

婦人会会長

古賀 静枝

先般、六月十七日、皆様方も御存じのように、当山第五世 順忠院日貫上人御礼室 花田 英様（順教院日英法尼）がご遷化され、同月二十七日、本葬儀が営まれました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

僭越ながら、日英法尼様への御生前の思い出と感謝の気持ちを含めて御霊前への弔辞を述べさせて頂きましたので記載させていただきます。

謹んで妙教寺第五世 順忠院日貫上人御礼室 花田 英・順教院日英法尼様の御霊前にお別れの言葉を申し上げます。

厳しい厳しい御前様を助けられて六十二年間、その御苦労は並大抵のことではなかったでしょう。しかしよく乗り越えられてこの妙教寺をこれほどの立派なお寺に築き上げられました事、心より感謝申し上げます。



日英法尼本葬儀で弔辞を述べる古賀会長

何もわからない私を手取り足取り身近にご指導くださったのは奥様です。あまりにもたくさんさんの思い出があり、一言では語り尽くせませんが、一番の思い出は奥様

と一緒に身延山へお参りをさせて頂いた事です。

身延には夜行列車に揺られながら朝早く着き、身延山大本堂でお詣りを済ませ、休む間もなく奥の院思親閣まで行き、それから山越えて三時間以上もかかって七面山のふもとの白糸の滝に着きました。そちらで身を清めてから五十丁ある険しい参道を登り、四時間かけて山頂にある七面様の本殿までお詣りさせて頂きました。奥様の足の速いこと、遅れながら一生懸命について行くのがやつとだった事を、昨日のように思い出します。その後も八回以上は一緒にお詣りさせて頂きましたね。

又、大阪の能勢の妙見様と白瀧様のお滝場での修行など、一年に二・三回は一緒

にお詣りしましたね。

大勢の方が奥様にご指導を頂き、たくさんさんの思い出が走馬灯のように思い浮かんで語り尽くせませんが、今日の私共の信仰があるのも奥様のご指導の賜物であり、今の私があるのも奥様のお蔭でございます。みんな心より感謝致しております。永い間お世話になりました。ありがとうございます。

最後に何と言つていいか言葉が見つかりませんが、これから今後の妙教寺とまだまだ未熟な私たちを見守って下さい。

永い間お疲れ様でした。ごゆつくりお休み下さい。
平成二十四年六月二十七日



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店

仏壇・仏具・寺院用具 寺院納骨堂設計施工



本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町 10-9
TEL (092) 271-0456 • FAX (092) 271-0464

工場 〒819-0373 福岡市西区周船寺 3-9-4
TEL (092) 806-7499 • FAX (092) 807-1079

◆ E-mail umetani@umetani-jp.com

◆ HP <http://www.umetani-jp.com>

日賢上人十三回忌に想う

総代

松尾 勝次

日賢上人が亡くなられて早十三年が経ち、もうそんなに月日が経つのかと思うと同時に、久しぶりに日賢上人の御縁を振り返ることが出来ました。



信行会に参加する松尾総代（右側）

私が日賢上人に初めてお会いしたのは、日蓮宗総本

山身延山久遠寺での在院生六年（本山のご法務を勉強しながら高校三年・大学三年間の修行を兼ねた団体生活）、立正大学二年を経てから妙教寺に帰れたばかりの若きお上人で、私の家に回向参りに来られた時でした。

その頃私は小学生の高学年の頃だったと記憶しております。お経を終えられて、私に声をかけられ「今度林間学校を開催するので参加してみないか」とお誘いを頂き、第一回妙教寺夏季林間学校に参加しました。（その当時としては大変珍しい、お寺主催での行事でした。）中

学三年間を生徒として参加をし、高校生の頃から指導員をさせて頂きました。また、日賢上人の導きにより、妙教寺青少年育成よいこの会、ブラスバンド活動、研修会（二十一日間の情操教育活動生活）・青年会とご指導をいただきました。



節分追難会で檀信徒の皆様にご祈祷をされる、ありしの日賢上人

私にとって気さくで温厚な心で接していただき、兄のような存在でもありました。日賢上人の言葉で心に残っていることは、「上求菩提下

化衆生」自分さえ良ければいいと思う、自分中心の心で生きることはいけません。お題目の心（慈悲の心）で生活することが大事。周りの人々に手を差し伸べ、導いていきなさいと教えられ、又、「自分に自信を持つて行動しなさい。諸天は必ず見ておられる。教えを理解し持続しておこなうことは大変難しいがそれが一番大切で、お経の中（此経難持云々）にも書いてあるんだよ、お題目の心で人の手本となりなさい。」とご指導いただきました。人間の心は善と悪との戦いであるときよくいわれますが、迷った時こそ日賢上人の御指導を思い出し、励みにながら信仰的な生活を送りたいと思います。

南無妙法蓮華経

投稿欄

婦人会会長 古賀 静枝

暑中お見舞い申し上げます

檀信徒の皆様には日頃より婦人会の活動にご協力いただき心より感謝申し上げます。

先日、西筑組門中会主催の海上施餓鬼大法要に御住職上人、奥様をはじめ檀信徒の皆様二十五名で参加させて頂きました。皆様には暑い中大変お疲れ様でした。

午前中の大法要に続き午後には社会医療法人栄光会ホスピス主監、栄光会病院理事長の下稲葉先生の講演を聞かせて頂きました。「死に向き合つてどのように生きるか」についてのお話でした。

毎日当たり前のように平穏な日々を送られるのは大変有り難い事だと感じ、心の中で南無妙法蓮華経と感謝の気持ちで唱えました。



海上施餓鬼会に参加した
婦人会会長古賀静枝（前列中央）

私は何時も思うのですが、人と人との繋がりが一番大切な事ではないかと思います。人は一人では生きていきません。お互い助けたり助けられたりし支えあつて生きていきたいと思います。それが家族だったり友人であり周りの人だったりします。そう

思うと周りの人々に感謝をし、手を合わせずにはいられません。そのような思いで講演を聞かせて頂きました。

途中、急に激しい雨が降り出し、空では大喧嘩でもあつたかのように激しい雷が鳴りだしましたが、お題目をお唱えし、心を落ち着け会場を後にしました。

梅雨が上がれば暑い暑い日々がやってきます。皆様もこれからお身体に気を付けられ、決して無理をせずにお過ごしください。

いよいよ宗祖日蓮大聖人御降誕八百年慶讃事業が動き始めました。私も微力ながら皆様と一緒に妙教寺の発展の為に頑張つて最後まで役目を果たしていきたいと思つております。今後とも協力頂きますようよろしくお願い致します。



スマイル車検

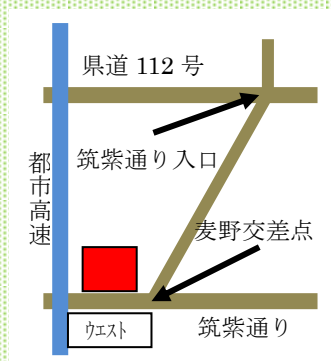
民間車検工場

井上自動車株式会社

福岡市博多区麦野 1-1-38

TEL : 092-581-4607

FAX : 092-581-4796

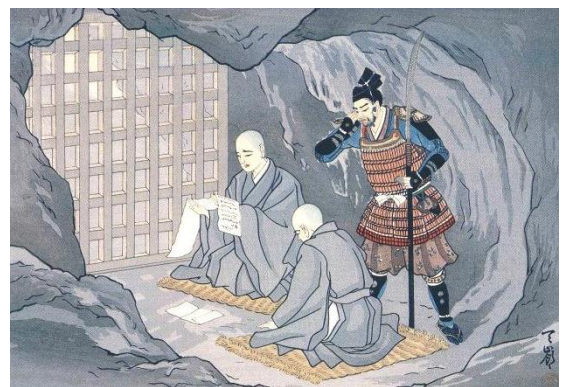


日蓮大聖人のおことば ⑩

土籠御書

日蓮は明日佐渡の国へまかるなり。今夜の
さむきに付ても、ろう(牢)のうちのありさま、
思ひやられていたはしくこそ候へ。
あはれ殿は、法華經一部を色心二法共に
あそばしたる御身なれば、父母六親
一切衆生をもたすけ給べき御身なり。
法華經を余人のよみ候は、口ばかり
ことば(言)ばかりはよめども心はよまず。
心はよめども身によまず。
色心二法共にあそばされたるこそ貴く候へ。

(文永八年、聖人聖寿五十歳)



日蓮聖人の便りを読まれる日朗上人

日蓮聖人が依智に在る間、鎌倉では火事や人殺しがひんぱんに起こり、混乱に陥っていました。これは良寛らが謀略をめぐらし、配下の念佛者たちに命じて行わせたものでした。彼らは、日蓮聖人の弟子や信者が幕府の処置を憎んでやったのだと申し立てたため幕府も放っておけなくなり、一門の名簿を提出させ、二百六十余人が捕えられたと記録に残っています。

日朗上人もその中の一人で、宿屋光則邸内の土牢に入れられたのでした。それを知った日蓮聖人は「自分は明日佐渡へ行くことになった。今夜の寒さからして、牢中の様子が思いやられて不憫でならない……牢を出ることが許されたら、明年の春には必ずおいでなさい……」と師弟の情愛あふれる慰めの書を送りました。これが有名な「土牢御書」です。日朗上人と、一緒に牢に入れた日進上人は、恩情あふれる便りに、一行読んでは涙を流し、二行読んではむせび泣くという状態でした。この土牢の跡は、鎌倉の長谷にある光則寺の裏山に保存されています。

南無妙法蓮華經

(御一代記参照)

信行会より

お施餓鬼について



お施餓鬼とは、わざわざいを消し、さわりやたたりを転じ、寿命をのべ、福をまねき、死者も生者とともに福寿を増す、という仏教の秘法なのです。

中国の不空^{ふくう}という僧が訳した「救拔焰口餓鬼陀羅尼^{きゅうはつえんぐがきだらに}経^{きやう}」というお経には、次のように書かれています。

仏弟子の阿難の前に、やせおとろえて形相のみにくい、口から火をはく餓鬼があらわれてこのように言いました。

「おまえは二日後に命つきて餓鬼に生まれかわるであらう。それをのがれたいなら

ば、数えきれないほどたくさん餓鬼や婆羅門、仙人にそれぞれ一石の飲食をほどこし、仏、法、僧に供養なさい。そうすればおまえは幸せを得、その苦しみから免れて天上に生まれ変わるであらう。」

阿難は恐ろしさにおのいて、このことをお釈迦さま伝え、この苦しみから救われる道をたずねました。

お釈迦さまは、

「お経をとくなえなさい、そして飲食をほどこすならば、餓鬼たちにそれぞれ七石もの食をあたえることになり、寿命と福德を得ることがで

きるであらう。」と教えられました。阿難は、さつそくこの通り実行し、その苦しみから救われることができたのです。



お寺では、せがき棚をかざり、四方に笹竹をたて、青黄赤白黒の五色のはたをかけ、壇の上に四生六道（あらゆる境界）の万霊をまつり、その両側に新盆にあたるイハイを安置し、浄水・飯食・華香などをそなえて、おおぜいのお坊さんたちが読経しま

す。つまり、餓鬼―何も食べることができないで苦しんでいる精霊―に供養する集まりが、「おセガキ」です。

これにあやかつて、わたくしたちの祖先の霊の追善回向を、こころざすことを「添せがき」「附せがき」と呼びますが、おセガキの時にこころざす回向は、ふだんこころざす回向のくどくよりも数倍もすぐれている、とされるので、おセガキにはお寺に集つて、きそつておトーバをたて、お焼香をし、お題目をとなえるのです。そうすることによつてわたくしたちの父や母をはじめとする先祖たちが喜ぶばかりでなく、生きていくわたくしたち自身が、苦しみや悩みからのがれることがでるのです。

（各書参考）

一口説法

言葉や

行いを

大事に

あなたは「人に自分の気持ちを伝えるのは何て難しいのだろう」と思った事はありませんか？自分の思いはこんなにもたくさんあるのに、なぜ解ってくれないのだろうと、嫌になることもありますよね。

では逆に、私たちは他人の気持ちを理解するのに、どうしていますか？あの人は今、怒っているとか、悲しんでいるとか、嬉しそうだなとか、それはいったい何をもって判断しているのでしょうか。

それはきっと、その人の言葉や姿や行いを見て理解しているのではないのでしょうか。だから相手の荒々しい言葉や行動を見て、あの人は怒っていると思ひ、笑顔や笑い声や、はしゃぐ態度で、あの人は嬉しいのだと解るわけです。人の心を読む超能力でもあれば簡単かも知れませんが、だれもがそういうわけにはいきません。

今、世の中の人間関係がギスギスしています。自己チュウと言われるような自分本位で考える人が多いありません。とても人の気持ちなど理解する余裕など無いのかも知れません。人の事を心配していたら自分が損な役目になってしまうこともよくある話です。でも考えてみてください。私たちの存在は一人だけで成り立つもの

ではありません。互いに支え合って社会を築くことが大切なのです。そのためには少しでも相手の気持ちを理解し、自分の思いをできるだけ伝えるよう努力すべきでしょう。

お釈迦さまが、この世に出られ、教えを説かれた目的は、すべての人々が尊い言葉と姿と行いをするためであり、日蓮聖人は「人の生き方の根本は人の振る舞いにあるぞ！」とおっしゃっているのです。

私たちは、自分の言葉に正しい気持ちを込め、姿を整え、日々の行いに裏表のない真心の気持ちをもちて生活していきましょう。それが相手の心を理解し、自分の思いを伝える最良の方法なのですから。

『日蓮宗テレホン説教法話集』より

(有) 広栄堂龍仏具店



各種仏壇・仏具お取り寄せ出来ます。お気軽にご来店下さい。

福岡県大野城市錦町 2-2-3

TEL FAX **092-582-7676**

定休日/毎月 5・15日



お上人さん教えて！

Q 仏壇の置く場所や向きに決まりはあるんですか？

A 仏壇を安置する場所には、いろいろな説や言い伝えがあります。代表的な「南面北座説」は、仏壇の正面が南に向き、背が北になるように安置することです。

その他さまざまな言い伝えがありますが、日蓮宗には仏壇をどこに安置するか絶対的決まりはありません。大切に扱い、清潔さに心がけ、落ち着いて礼拝できるところに安置してください。

Q ご先祖様の位牌が多くなり、仏壇には並ばなくなってきたのですが？

A 位牌が多くなりすぎたら、古いご先祖様から順次過去帳に記入していつてください。



日蓮宗用の過去帳

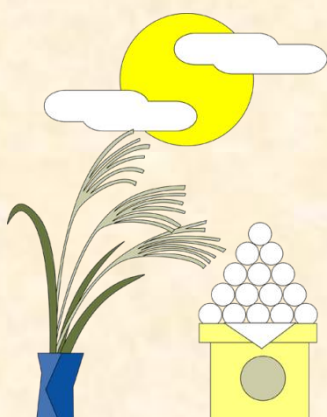
中央に置き、両脇に新しいご先祖様のお位牌をまつてください。過去帳がない場合は菩提寺のご住職にご相談ください。

(日蓮宗ポータルサイトより)

地方発送承ります

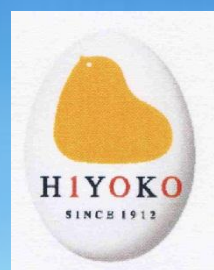


笑顔合せ 2,100 円
ひよ子、ひよ子サブレ、ピナンシェ詰合せ



本物の美味しきで、
あなたの笑顔に
出会いたい。
ひよ子本舗吉野堂

ハッピー バースデーひよ子



100 年の愛を
ときめきに
とき芽きに

御進物に
「名菓ひよ子」をどうぞ。



檀信徒様のお買い上げは、当店に限り **10%**引きとさせていただきますので、ご気軽にご来店下さいませ。お待ちしております。

名菓ひよ子 イオン大野城店
大野城市錦町 4 丁目 1-1
イオン大野城 1 階

TEL FAX **092-592-2126**

行事スナップあれこれ



2/5 節分追儺会
今年一年の無病息災、徐厄退散を
祈念して福は内！



1/22 婦人会主催寒修行
団扇太鼓を叩いて唱題行を行う
檀信徒のみなさん



7/29 土用の丑ほうろく灸祈祷会
当病平癒、徐病の祈願をしました。



7/19 第41回海上施餓鬼会
猛暑の中、約20名の檀信徒の
皆様の参加がありました。

残暑お見舞い申し上げます。

五月に役員改選が行われ、
妙教寺だより前編集長・植村
俊親筆頭総代の後を受け、
新編集長をさせて頂くこと
になりました、當山執事の高
野英典です。

器ではありませんが皆様方
のご協力を頂き今後も、より
解りやすく皆様の信仰に役
立つお話や、お寺の行事に伴
う案内・報告等の情報を発信
して行きたいと思います。

また、檀信徒の皆様方から
のご意見やご希望・情報など
をお待ち致しております。今
後も、よろしくお願い申し上
げます。

編集後記



毎日のように35度以上の
酷暑日が続いております、く
れぐれも体調管理にご留意
下さい。
※新役員方のご紹介は次回
号でさせて頂きます。

お寺の行事

◎9月2日(第1日曜)

・月例祈禱祭

午前10時より

◎9月19、25日(水、火)

・秋季彼岸棚経廻り

早朝より

◎9月27日(第4木曜)

・西筑組門中会主催

「お題目のつどい」

糟屋地区 法華寺於

◎9月30日(第5日曜)

・各家勧請守護神祭

・秋季彼岸施餓鬼供養会

午後1時より

◎10月7日(第1日曜)

・月例祈禱祭

午前10時より

◎10月14日(第2日曜)

・宗祖日蓮大聖人お会式

・月施餓鬼供養会

午後1時より

◎11月4日(第1日曜)

・月祈禱祭

午前10時より

◎11月25日(第4日曜)

・月施餓鬼供養会

午後1時より

◎12月2日(第1日曜)

・月祈禱祭

午前10時より

・三沢清正公堂大掃除

午後より

◎12月16日(第3日曜)

・年末煤払い大掃除

午前9時より

◎12月23日(第4日曜)

・年末総供養施餓鬼会

午後1時より

◎12月27日(第4木曜)

・正月お供えの為の餅つき

午前8時より

◎12月28、30日(金、日)

・正月飾付け準備

◎1月1日(火)

・初参詣祝禱会

午前1時より

◎1月1日、3日(火、木)

・新春三ヶ日一部経読誦会

午前8時より

◎1月14日(成人の日)

・各家勧請守護神祭

・年頭施餓鬼供養会

・開運星祭り

・新春福引き大会

午後1時より

◎1月20日(第3日曜)

・寒修行会(婦人会主催)

午前10時より

行事予定日・時間は、変更させて頂くことがありますので、事前に發送します案内でご確認下さい。

◎毎月第1日曜日は

・信行会 (12時より)

・三沢清正公堂お参り

(午後より)

《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

○近代的格調高い

○耐久性にすぐれる

○御先祖様をおまつりするのに
相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。

※詳しくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目一番二七号

春日山 妙教寺

〇九二(五八二)一二六六